

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
H28決算額(円)		妥当性評価						
				有効性評価				
				効率性評価				
1	農業の振興	農業経営基盤強化促進法に基づき農用地の利用権設定等の農用地利用集積計画を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図る。	21,235,162	事務事業評価		農業経営基盤強化促進法に基づき、農用地利用集積計画(農地の売買・貸借)を策定し、農業の担い手育成及び農用地の有効利用を図っている。	耕作放棄地を持つ所有者に対し、意向調査を実施して、希望する農地を農地バンクへ登録した。	農地の出し手・受け手の情報をより早く把握して、農地の有効利用を行い、地域の担い手へ農地の利用集積を図っていく。
	30101020		2,835,000	農業委員会事務局				
	農地利用集積促進支援事業		18,400,162	高橋 知子				
			18,640,571	高い				
			3,077,500	高い				
	15,563,071	高い						
					改善の効果	高い		
2	農業の振興	効率的な農地利用を促進するため、耕作放棄地対策、後継者育成等農家への支援を行うとともに、市民の農業への関心を高める企画・運営等を総合的・計画的に行う。	36,907,658	事務事業評価		・農地バンク事業における新規登録面積、売買・貸借の仲介成立面積は横ばいで推移しているが、園芸施設の流動化(園芸施設バンク)が進んでいない。 ・農業セミナーの内、チャレンジセミナーについては、趣旨と実施運用に乖離があり、手法も含めて見直しが必要な状況である。	・施設園芸バンクについて、田原農業支援センター連携会議で協議し、見直しの方向付けができた。 ・チャレンジセミナーのイチジクコースについては、農家見聞方式からほ場実習方式に切り替えたことで、実効性が高まった。	・農地及び園芸施設の流動化・有効利用の推進については、バンク事業の中で一体的に進めていく。 ・チャレンジセミナーについては、経営基盤のない新規就農者向けの研修として位置づけ、新しい方式で実施する。 ・新規就農支援のため、部署、関係機関の連携強化と情報共有で支援の充実を図る。
	30101030		4,488,310	産業振興部 営農支援課				
	営農支援課管理運営事業		32,419,348	内藤 栄次				
			35,657,728	高い				
			4,092,812	高い				
	31,564,916	普通						
					改善の効果	高い		
3	農業の振興	地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを目的に、地域ぐるみで行う草刈、浚渫等施設の維持管理を行う活動組織に対して農地維持・資源向上(共同活動・施設の長寿命化)活動を支援する。	223,139,958	事務事業評価		活動組織による農道、水路等の草刈、泥上げ等の実施により、農業用施設の維持管理を推進している。活動組織が複雑な制度を理解し、適正な活動をする必要がある。また平成27年度から多面法の施行に伴い、事業計画の認定及び活動の実施状況確認等の市の役割が増大し、19組織の活動把握が困難な状況である。	活動組織に対して、事務指導の機会を設けて、事務の適正化を図った。	市の活動組織への関わり方を支援から指導に移行し、活動組織の自立を図る。また、制度の運用を適正かつ円滑にできるように説明会の充実を図る。また平成30年度が5年計画の最終年度かつ、新5か年計画の作成が必要となってくる。
	30101040		214,610,535	産業振興部 農政課				
	多面的機能支払事業		8,529,423	鈴木 隆広				
			236,348,740	高い				
			225,146,942	高い				
	11,201,798	高い						
					改善の効果	普通		
4	農業の振興	地区内の開発による流出量の増大や排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下によるたん水被害を防止するため、排水機場の改築を行い、被害を未然に防ぐたん水防除事業を支援する。	92,956,897	事務事業評価		県営事業で行われる排水機場等の事業に対して、地元等と調整し、事業の円滑化を図る必要がある。	排水機場の改修計画策定にあたり、管理予定者会議を開催することにより、現場の意見を設計に反映させることができた。	農地への被害を防ぐため排水機場等の改修を進める。
	30102040		89,414,753	産業振興部 農政課				
	たん水防除促進事業(30102040,30102030)		3,542,144	鈴木 隆広				
			89,366,417	高い				
			86,197,098	高い				
	3,169,319	高い						
					改善の効果	普通		
5	農業の振興	農業の生産性の向上、災害防止及び国土の保全を図るため、道路、排水路、その他の土地改良施設の整備を行う。また、土地改良区が事業主体の単県土地改良事業、単独土地改良事業の支援する。	537,658,315	事務事業評価		土地改良区の土地改良施設に対して要望どおり対応が出来ないため、施設の緊急性、有効性及び効率性を考慮して地区選定する必要がある。	老朽化した浜田樋門の改修工事に着手した。また土地改良区が事業実施にあたり緊急性及び必要性を考慮しながら事業実施した。	土地改良施設の整備を緊急性及び必要性を考慮しながら進めていく。
	30102060		534,971,208	産業振興部 農政課				
	土地改良施設整備事業		2,687,107	鈴木 隆広				
			68,100,935	高い				
			62,488,583	高い				
	5,612,352	高い						
					改善の効果	高い		
6	農業の振興	土地改良施設の適正管理を行うとともに、小規模災害等に適応するため、土地改良施設の維持管理を行う。	50,329,689	事務事業評価		土地改良施設の維持を目的とした施設の改修・修繕を限られた予算で効果的に実施する必要がある。	土地改良施設の維持管理にあたり、補修等を行い、施設の適切な管理を実施した。	土地改良施設の機能が最大限発揮されるよう施設維持管理を進める。
	30102090		45,994,952	産業振興部 農政課				
	土地改良施設維持事業(30102090,3010210,30102130)		4,334,737	鈴木 隆広				
			6,271,248	高い				
			2,065,115	高い				
	4,206,133	高い						
					改善の効果	高い		
7	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、降雨時の排水機の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器のオーバーホール及び交換等を行う。	61,742,383	事務事業評価		排水機場の機能を適正に維持し、施設の長寿命化を図るため、計画的にオーバーホール等を実施する必要がある。	緊急性を考慮しながら計画的な改修を実施した。	土地改良施設維持管理適正化事業等により排水機場の計画的な改修を進める。
	30102100		55,926,460	産業振興部 農政課				
	排水機場等維持事業		5,815,923	鈴木 隆広				
			20,865,891	高い				
			17,778,342	高い				
	3,087,549	高い						
					改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価	事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名			
			H28決算額(円)	妥当性評価			
				有効性評価			
				効率性評価			
8	農業の振興	土地改良施設の適正管理を図る。また、小規模災害等に適応することを目的として、土地改良施設の維持管理を行う。	1,262,374	事務事業評価	農政課と連携し、土地改良施設の適正な維持管理、樋門等の操作方法の確認、指導等が必要である。	樋門等の操作方法の確認、指導を行うことで警報発令等の緊急時に対応することができた。	自治会等管理委託者に対し、樋門等操作方法の指導を強化し、緊急時における適切な対応を図る。
	30102140		409,961	渥美支所 地域課			
			852,413	小久保 順一			
			823,397	普通			
			447,234	普通			
		376,163	普通		改善の効果	普通	
9	農業の振興	たん水被害を防止し、農業経営及び生活の安定を図るため、排水機の降雨時の運転に支障をきたさないように、排水機の定期的な保守点検及び維持管理を行う。また、老朽化した施設については、安定した運転ができるように、機器の修繕及び交換等を行う。	45,010,690	事務事業評価	適正に機能を維持し延命するため定期的な保守点検や機器の修繕が必要である。	保守点検や機器の修繕を実施したことにより施設の機能を維持し農地等へのたん水被害が防止できた。	定期的に保守点検や機器の修繕を実施し、機場の適正な機能維持、長寿命化を図る。
	30102150		35,938,001	渥美支所 地域課			
			9,072,689	小久保 順一			
			36,549,600	高い			
			28,185,595	高い			
		8,364,005	普通		改善の効果	普通	
10	農業の振興	たはら食育推進計画2016(平成23年度改訂)に基づき、市民、市や関係団体がそれぞれ主体となって様々な取組を行い、食育の普及・啓発を図る。	6,855,537	事務事業評価	たはら食育推進計画2021を策定した。指標・目標値等の達成に向け、各分野のさらなる連携、食育の普及・推進が必要である。	食育推進計画に基づき、市民、市や関係団体が食育活動に取り組んだことで、健全な食生活についてPRすることができた。	食育に関する情報提供や、団体等の取り組みを支援することにより、市民の食育への理解を促進する。
	30103010		673,708	産業振興部 農政課			
			6,181,829	鈴木 隆広			
			15,926,705	高い			
			1,913,024	高い			
		14,013,681	高い		改善の効果	高い	
11	農業の振興	来園者の安全確保と魅力のある公園にする。また、都市と農村の交流の場や地元農畜産物の振興の場として活用する。	100,840,613	事務事業評価	施設の老朽化が著しいため、修繕・改修が必要な箇所がある。また、サラダ館の展示機器等は故障が多く、リニューアルの必要がある。	マーケットピロティの改修を行い、売場の充実を図った。	サンテガーデンの天地返しを行う。施設の修繕を検討し、優先順位をつけて行う。サラダ館展示機器のリニューアルを行う。
	30103020		52,831,563	産業振興部 農業公園管理事務所			
			48,009,050	田中 靖啓			
			93,591,351	高い			
			45,080,915	高い			
		48,510,436	高い		改善の効果	高い	
12	農業の振興	イベントの実施やPR活動により、市民の憩いの場としての定着化や観光施設としての集客向上を図る。また、各種事業のイベント会場として活用する。	21,253,664	事務事業評価	ラジオやホームページ、ブログなどでPRを行っている。チューリップフェアや水遊び広場、収穫体験などはリピーターやロコミでの来園者が増加している。限られた職員と予算の中での、イベントの充実や新規来園者開拓の工夫が必要である。	豊橋市こども未来館ここにこ、豊川市赤塚山公園ぎよぎよランドとの連携を行い、PRをした。	収穫体験、体験教室、子ども工作教室の充実を図る。
	30103030		8,072,618	産業振興部 農業公園管理事務所			
			13,181,046	田中 靖啓			
			18,501,064	高い			
			6,322,537	高い			
		12,178,527	高い		改善の効果	高い	
13	農業の振興	田原市の基幹産業である農業の活性化を図るため、国内外での販路拡大、産地競争力の強化、山地認知度の向上、先端技術の導入など各種事業を展開する。	545,303,175	事務事業評価	産地パワーアップ事業をはじめとする国庫補助事業の採択を受け、地域農業の基盤強化に繋がった。また、花きや農産物等の消費拡大を図るため、JAや関係団体と連携してPRを実施した。	国庫補助の採択を受け、農業者が施設の整備や機械の導入を行うことで、経営基盤の強化を図ることができた。	花き等地域農産物のPRを行い、日本一の農業の産地を知ってもらうとともに、引き続き国庫補助を活用した経営基盤強化の取り組みを支援する。
	30104010		513,186,890	産業振興部 農政課			
			32,116,285	鈴木 隆広			
			476,682,209	高い			
			436,683,383	普通			
		39,998,826	高い		改善の効果	高い	
14	農業の振興	食料自給率の向上を図る施策により、主食用米から新規需要米(飼料用等)、麦、大豆などへの作付転換を促すことで、米の需要及び価格の安定と水田の有効利用を図る。	8,284,224	事務事業評価	国の示す主食用米の生産数量目標達成に向け、生産者の取組を進めるとともに、地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく地域振興作物等の栽培により、食料自給率の向上を図っている。	生産組合長を通じて制度の周知を図るとともに、制度加入の受付会を開催し、生産数量目標の達成に向け、飼料用米等の作付を推進した。	国の米政策を分かりやすく生産者に伝え、食料自給率の向上に努める。
	30104020		2,962,000	産業振興部 農政課			
			5,322,224	鈴木 隆広			
			9,693,391	普通			
			2,731,000	普通			
		6,962,391	普通		改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価	事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名 妥当性評価			
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価			
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価			
15	農業の振興	畜産の伝染病は、発生農家はもとより産地として大きなダメージに繋がる。家畜の法定伝染病等の自衛防疫を促進するとともに、良質な畜産物を生産し、家畜飼養農家経営の安定と健全な発展を図る。	17,418,269	事務事業評価	伝染病は一度発生すると、容易に他へ感染してしまうことから、防疫対策は、市内畜産農家が同じ危機意識を持って一丸となって取組む必要がある。畜産農家によって意識や対応に差異があるため、より高い防疫意識の高揚を図る必要がある。	研修会の開催や防疫ニュースの発行、防疫資材の購入補助により伝染病の予防に努めた。また全国的に流行した鳥インフルエンザへの緊急対策として家さん農家に対して消石灰を配布した。	伝染病予防は農家の自己防疫が要となるため、田原市家畜防疫対策協議会と協力し、今後も農家の防疫意識の高揚を図る。
	30104030		10,553,287	産業振興部 農政課			
	家畜伝染病予防支援事業		6,864,982	鈴木 隆広			
	13,988,061		極めて高い				
	10,345,882		高い				
			3,642,179	高い		改善の効果	高い
16	農業の振興	農業者の老後に必要な農業者年金の給付に必要な諸届受付を行い、その老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業の担い手を確保し、農業の生涯所得の充実を図る。	2,053,444	事務事業評価	農業者の老後に農業者年金の給付に諸届受付を行い、老後の生活の安定及び福祉の向上を図っている。また、加入者においては、農業の担い手が確保され、農業者の生涯所得の充実につながっている。	農業委員会だより・チラシ配布及び制度説明会などを開催するなど制度の周知を図った。	農業者年金の有利さをPRし、農協や農業委員と連携して加入推進を図っていく。
	30104040		354,206	農業委員会事務局			
	農業者年金推進事業		1,699,238	高橋 知子			
	1,913,958		普通				
	329,263		普通				
			1,584,695	普通		改善の効果	普通
17	農業の振興	畜産業の持続的な振興と畜産農家の経営安定を図ることを目的に、畜産業に関する諸問題の解決に取組み、地域と共存する畜産経営環境を整備する。	14,666,007	事務事業評価	後継牛の確保、死亡牛の処理、酪農ヘルパー利用組合に対する補助を通じて、畜産農家の経営安定化を図った。今後は、国庫補助事業である畜産クラスター事業を有効活用し、地域畜産業の基盤強化を図る必要がある。	畜産クラスター事業の要望調査、計画の作成等を行い、規模拡大に意欲的な農家を支援した。	引き続き国庫補助事業を活用した経営基盤強化の取組みを支援する。
	30104050		9,525,640	産業振興部 農政課			
	畜産振興事業		5,140,367	鈴木 隆広			
	15,356,278		高い				
	7,961,980		高い				
			7,394,298	普通		改善の効果	高い
18	農業の振興	農業者の高齢化が進む中、やる気のある担い手に対する支援を実施することで、人づくり及び連帯感の醸成を図るとともに、農業団体への指導及び助成により、地域農業の発展に寄与する。	13,507,982	事務事業評価	田原農業改良普及課やJAと連携して、田原市農業の中心となる担い手で組織する農業者団体への支援を行うことで、農業者間の情報共有や課題解決への取組みが進んでいる。	地域農業の課題を解決するため、先進地視察や研修等を行った。また、自らが生産した農産物を消費者に直接販売するマルシェ事業に取り組んでおり、農業の中心担い手の育成に繋がっている。	田原農業改良普及課やJAとの緊密な連携によって情報共有を図るとともに、課題解決への継続的な取組みを促進していく。
	30105010		3,024,956	産業振興部 農政課			
	担い手支援事業		10,483,026	鈴木 隆広			
	9,391,302		高い				
	2,401,220		普通				
			6,990,082	普通		改善の効果	普通
19	農業の振興	農業生産における化学肥料、農業資材、農薬等の使用による環境への影響を軽減し、環境保全と生産性の維持・向上との調和が可能な環境保全型農業を農業者、農業団体及び市が一体となって推進する。	40,027,586	事務事業評価	農業生産現場における農薬使用量や施肥量の減量の啓発に取り組む、多くの生産者の協力を得ることができた。環境保全型農業に対する生産者の取組みを更に広げる必要がある。	フェロモントラップ、黄色粘着板、残留農薬分析、緑肥等の実施により、環境に対する農家の意識向上を図るとともに、消費者への安全・安心な農作物を提供した。	環境の変化や農家ニーズを的確に把握し、現行体制の検証と新たな支援策を模索し、効果的な支援策を構築していく。
	30106020		33,306,196	産業振興部 農政課			
	環境保全型農業支援事業		6,721,390	鈴木 隆広			
	46,989,616		普通				
	41,276,151		普通				
			5,713,465	普通		改善の効果	普通
20	農業の振興	畜産経営において、負担が大きい糞尿処理に対し施設改修等の支援措置を講ずることで、糞尿処理の適正管理及び畜産農家の経営安定を促進し、畜産業の健全な発展を図る。	6,512,531	事務事業評価	畜産経営においては、糞尿処理に対する設備投資負担が大きい。施設改修等の支援措置により、適正な糞尿処理を促進する必要がある。	改修が必要な家畜排せつ物処理施設について、改修支援を行った。	環境問題(野積み、排水対策、臭気問題等)を未然に防ぐため、家畜ふん尿処理施設の改修への支援を継続する。
	30106030		4,036,280	産業振興部 農政課			
	家畜糞尿処理支援事業		2,476,251	鈴木 隆広			
	4,275,259		高い				
	2,121,000		高い				
			2,154,259	高い		改善の効果	高い
21	水産業の振興	水産物の安定供給を目指し、「とる漁業」から「育てる漁業」への転換を図るため、漁業組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を目指す。	13,137,071	事務事業評価	漁業組合が実施する稚貝等放流事業を支援し、水産資源の増大を図った。稚貝の生育は自然任せとなっているため、放流後の定着対策が課題となっている。	稚貝等の放流により、水産資源の確保に取り組んだ。また、漁業者が「育てる漁業」として漁場での稚貝の定着を図る試験に取り組んでいる。	水産物の安定供給のため、栽培漁業の取組みに対する支援を行うとともに、水揚量の確保と商品価値の高い水産物の出荷を目指す。
	30201010		7,853,000	産業振興部 農政課			
	栽培漁業振興支援事業		5,284,071	鈴木 隆広			
	13,000,984		高い				
	9,061,000		高い				
			3,939,984	普通		改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価				
22	水産業の振興	漁業者・漁業関係団体が漁業経営の活性化、漁場環境の改善を図るために行う「水産多面的機能発揮対策事業」に対し、国、県とともに支援し、漁場環境の改善を図り、漁業者の所得向上を目指す。	11,786,239	事務事業評価		漁業経営の活性化や漁場環境の改善を図る漁業者・漁業関係団体の取り組みに対し、国、県とともに支援した。漁場を取り巻く環境の改善には、漁業者の意識向上及び積極的な取り組みが必要である。	漁場の耕うん、有害生物の駆除等を実施し、漁場の美化、底質の改善等が図られた。また、漁場の清掃により、動植物の保護に寄与した。	漁場の耕うんなどにより、水産資源に対する干潟機能の改善を図る。被覆網の設置等をして、干潟の保全を図る。また、清掃活動により、動植物の保護、環境保全意識の高揚を図る。
	30202010		5,422,536	産業振興部 農政課				
	漁業者・団体支援事業		6,363,703	鈴木 隆広				
			10,516,443	高い				
			5,284,327	高い				
			5,232,116	普通			改善の効果	高い
23	水産業の振興	姫島漁港の維持管理を委託し、良好な漁港環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	8,857,942	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理が必要である。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。
	30203010		8,679,282	建設部 維持管理課				
	姫島漁港管理事業		178,660	大羽 剛志				
			9,312,634	普通				
			8,679,282	普通				
			633,352	普通			改善の効果	普通
24	水産業の振興	宇津江漁港の維持管理を委託し、良好な漁港環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	964,660	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理が必要である。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理を行う。
	30203020		786,000	建設部 維持管理課				
	宇津江漁港管理事業		178,660	大羽 剛志				
			1,419,352	普通				
			786,000	普通				
			633,352	普通			改善の効果	普通
25	水産業の振興	漁港利用者が安全かつ快適に利用できるよう市管理漁港施設の維持補修及び改良等整備を行う。	13,543,240	事務事業評価		宇津江漁港海岸の堤防が老朽化し、損傷が著しいため、改修が必要である。また、漁港内の船揚場が未舗装であり、利便性向上を図るため、改修が必要である。	船揚場の舗装を行い、利便性向上を図った。	海岸堤防の改修を行い、適正な維持管理に努め施設保全を図る。
	30203030		13,543,240	建設部 建設企画課				
	漁港整備事業		0	太田 俊成				
			2,612,297	極めて高い				
			2,042,280	高い				
			570,017	普通			改善の効果	高い
26	水産業の振興	市管理漁港の利用者が、環境・衛生面等で快適に利用できるように施設内にある公衆便所等の適正な維持・管理を行う。	31,756,333	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる漁港を目指し、適正な維持管理が必要である。	老朽化した浮桟橋の修繕を行うと共に漁港内に防犯カメラを設置し、漁港施設の適正な維持管理を図った。	老朽化の進む漁港施設の適正な維持管理のため、漁港機能保全計画を策定し、保全工事を視野に入れた漁港施設の維持管理を行う。
	30203040		25,821,982	建設部 維持管理課				
	漁港管理事業		5,934,351	大羽 剛志				
			25,573,391	高い				
			19,461,628	高い				
			6,111,763	普通			改善の効果	高い
27	工業の振興	企業誘致を図るため、企業の立地動向を把握するとともに、企業誘致にかかわる関係機関と連携し、国内外に本市企業用地情報を発信する。	5,372,267	事務事業評価		本市の地域性を活用しながら、将来性のある事業分野や技術革新を試みる企業等に対して、企業用地等に関する情報発信が必要となっている。 革新的技術や特許に関する研究をし、他地域と異なる誘致活動、誘致材料の補強が必要である。	専門機関等との情報交換を密にし、国内外への企業用地情報の発信、情報入手に努めた。 産学官連系事業を活用し、誘致材料の補強に繋がる革新的技術の研究に努めた。	本市産業にとって将来的に必要な分野の誘致材料を関連団体との交流を通じ模索、継続的に研究を進める。 他市と異なる、田原市独自性の高い誘致材料を強化して、企業進出に結び付ける取組みを推進する。
	30301010		921,354	企画部 企業立地推進室				
	立地戦略推進事業		4,450,913	山田 達也				
			4,068,851	高い				
			1,442,558	普通				
			2,626,293	高い			改善の効果	高い
28	工業の振興	本市の産業振興と地域活力を増進するため、臨海部に企業の誘致を図るとともに、東三河5市が連携した企業誘致の活動を行う。	27,736,225	事務事業評価		臨海部の企業用地を、多くの企業担当者へ知っていただくため、各種媒体を活用した情報発信が必要となっている。 企業訪問等も定期的実施しているが、効果的な企業誘致方法は無く、地道な活動が必要。	企業誘致イベント等へ出展するなど、新たな企業訪問先の確保に努めた。 東三河5市の連携による誘致活動やイベントを展開した。 田原市内へ立地検討を進める企業との情報交換を密に行った。	イベント出展等を通じて、市内企業用地情報を継続的に発信し、新規企業の誘致に努める。 税収の優位性に限らず、行政コストの削減、行政又は地域課題の解決に繋がる分野の企業に着目した誘致活動を推進する。
	30301020		13,224,666	企画部 企業立地推進室				
	誘致活動事業		14,511,559	山田 達也				
			21,644,960	高い				
			7,009,680	普通				
			14,635,280	高い			改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名					
事務事業名		H28決算額(円)		事務事業評価					
		内 直接事業費 内 人件費		有効性評価 効率性評価					
29	工業の振興	田原市企業立地奨励金交付要綱等に基づき、進出企業の初期及び拡張投資の支援を図り、本市への企業立地を促進する。また、臨海部に立地した企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動支援を行う。	291,745,617	事務事業評価		・新規立地及び増設等を実施する企業へ奨励金制度を適用し、インセンティブ制度による支援が必要となっている。 ・臨海企業で構成する田原臨海企業懇話会の活動が活発となり、既立地企業の課題解決を図る必要がある。	・奨励金交付要綱を見直しを実施し、企業立地支援策を継続的に実施している。 ・田原臨海企業懇話会の幹線道路に関する活動や、防災活動を支援し、各企業活動の課題解決に努めた。	・企業の新規立地や事業所拡張の動向等を確認し、柔軟に対応できるよう支援策の拡充に努める。 ・田原臨海部に立地する企業の操業支援を行う上で重要な、道路・インフラの改善に努めるとともに、大規模災害に備え企業防災に対するソフト対策の充実に努める。	
	30301030		289,339,000	企画部 企業立地推進室					
			2,406,617	山田 達也					
	立地誘導・活動支援事業		511,001,408	高い					
		507,199,460	普通						
		3,801,948	高い				改善の効果	普通	
30	工業の振興	重要港湾三河港の整備・振興を図るため、国・県・関係団体への要望活動、振興PR事業の実施や自動車港湾としての特性を高める諸活動を行う。	5,036,587	事務事業評価		・関連団体等と連携し、三河港のコンテナ取扱量の拡大や、新規荷主及びコンテナの確保が必要となっている。 ・田原公共ふ頭は水深が5.5mであり、1万トンを超える大型船が入港できない状況であるため、早期の改善が必要となっている。	・新たな企業を確保するため、三河港振興会を核として、官民協働によるポートセールスを図った。 ・三河港及び田原港の機能拡充と背後圏に立地する企業群のインフラ環境の向上に向けて、国県等に機能強化要望活(田原公共ふ頭-10m)動を実施した。	・コンテナ取扱量を確保するため、地元企業に限らず西三河、或いは静岡県等から新規荷主を確保の支援を行う。 ・田原ふ頭の機能強化早期実現に努める。	
	30302010		1,450,608	企画部 企業立地推進室					
			3,585,979	山田 達也					
	三河港振興事業		6,951,983	高い					
			3,432,340	普通					
		3,519,643	普通			改善の効果	高い		
31	商業の振興	商工業の振興を図るため、中小企業者が運転資金等を円滑に確保できるよう、愛知県と協調して市内13店舗の金融機関に資金を預託するとともに、融資を受けた際の利子補給を行う。また、6次産業化・農工商連携を積極的に推進することで、地域産業の活性化を図る。	111,236,778	事務事業評価		・中小企業を取り巻く経済環境は引き続き厳しいことから、中小企業者のセーフティネットを維持する必要がある。 ・地域経済の持続性を高めるため、地域資源を活かした新たな事業展開の取組を促進していく必要がある。	・商工金融利子補給の補助率の維持を図った。 ・渥美半島たはらブランド認定事業を立上げ、市内の優れた製品の掘り起こしを図った。	・農林漁業団体、商工会、金融機関、担い手等と連携して、6次産業化推進協議会を立ち上げる。また6次産業化戦略を策定し、道の駅等と連携しながら新商品開発や販路形成を戦略的に支援する。 ・平成27年度に策定した創業支援事業計画に基づいた事業展開を図り、市内における起業・創業を促進する。	
	30401010		99,558,983	産業振興部 商工観光課					
			11,677,795	河邊 俊和					
	中小企業活性化支援事業		110,505,969	極めて高い					
			96,414,874	極めて高い					
		14,091,095	高い			改善の効果	高い		
32	商業の振興	中心市街地の賑わい創出を図るため、田原市中心市街地活性化基本計画に基づき各種事業等を実施する。	38,271,077	事務事業評価		中心市街地の魅力の向上のため、商店を巻き込んだエリア内の回遊性を高めるソフト事業が必要である。合わせて、街なかの賑わいを創出するため今後も事業を改善・継続・発展させていく必要がある。 本事業は田原市中心市街地活性化基本計画に位置づけられ、着実な実施により市街地の活性化を推進していく必要がある。	賑わい創出事業への商店の参加による回遊性の向上に取り組んだことが、参加商店など関係者のなかに、活性化のための主体的意識が高まってきている。	活性化を担う人材と活動組織の育成が必須なため、それを兼ねつつ本事業を今後も継続実施していく。本事業の認知度をさらに高め、参加店舗を増加させる。 田原市中心市街地活性化基本計画に基づき、関係者と連携しながら取組を進める。	
	30402010		21,556,430	都市整備部 街づくり推進課					
			16,714,647	鈴木 洋充					
	中心市街地活性化推進事業		19,018,635	高い					
			13,353,000	高い					
		5,665,635	普通			改善の効果	高い		
33	商業の振興	市内中小企業者の経営の改善を図るため、その指導機関である田原市商工会及び渥美商工会に対して助成を行い、中小企業者の指導育成を行う。また、安全で快適な環境を保つとともに、中心市街地の活性化を図る目的を以って、街路灯の維持管理費や商店街の催事、共同宣伝への助成を行う。	114,772,530	事務事業評価		・現状では田原・渥美の2つの商工会、カード事業組合となっており、それぞれの活動に差異があることから、市が一体となった産業振興施策の立案が課題となっている。 ・小規模企業振興のため商工会の経営支援機能の向上が必要となっている。	・統一された地域カードについて、行政ポイントを発行することで、カードの普及につながり、商店街への誘客を図った。 ・商工会の経営支援機能の向上を図るため、補助内容の見直しを行った。	・両商工会・カード事業組合の会員相互の交流を図り、将来的な一体化の機運を醸成するため、共同事業の実施等を促進する。 ・商工会補助に関しては、当面3年間を目処に評価し、必要に応じ見直しを行う。	
	30403010		109,437,493	産業振興部 商工観光課					
			5,335,037	河邊 俊和					
	商業団体支援事業		51,502,771	極めて高い					
		46,883,891	高い			改善の効果	高い		
		4,618,880	普通						
34	観光の振興	田原市内における観光事業を推進することで、国内外からの誘客を図る。また、地域間交流の拡大と広域観光の推進を図るため、愛知県観光協会、東三河広域観光協議会等に参画する。	82,835,916	事務事業評価		・観光産業の振興による交流人口の拡大は不可欠であることから、近隣自治体との連携を図りながら、多様な観光客のニーズに対応する観光メニューの造成を図る必要がある。 ・観光客受入れ体制づくりのため、観光事業に携わる人材育成を図る必要がある。	・昨年に引き続き、GOGO三河湾協議会、鳥羽伊良湖観光交流事業など、近隣自治体との連携を計画的に行う必要がある。 ・観光まちづくり大学を実施し、観光担い手等の育成を行った。	・渥美半島ツーリズムの構築を目指し、人材育成、観光推進ネットワークづくり及び地域資源を活かした滞在型観光プログラムの開発を行う。 ・広域連携を図り、新たな観光ルートの造成を図る。	
	30501010		53,037,422	産業振興部 商工観光課					
			29,798,494	河邊 俊和					
	観光推進事業		59,715,154	極めて高い					
			29,873,483	高い					
		29,841,671	普通			改善の効果	高い		
35	観光の振興	道の駅(田原めつくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト)及び三河田原駅(交流ひろば)を適正に管理運営することで、田原に訪れる観光客の利便を図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	51,096,098	事務事業評価		・観光客に対するイメージ・サービスの向上を図るため、老朽化した施設及び機器の補修や更新を計画的に行う必要がある。 ・観光客及び市民に対する道の駅の役割等を見直し、新たな魅力付けを検討していく必要がある。	・田原めつくんはうすの利便性の向上、高質化のため改修工事の基本・実施設計を行った。 ・田原めつくんはうすの屋根改修工事を実施した。 ・効率的な管理のあり方について指定管理者と調整を行った。	・道の駅のあり方を見直しを図ると共に、計画的な改修等を行うことで、道の駅の目的型観光施設としての魅力を高めていく。 ・来客サービスの向上及び効率的な施設管理のため、指定管理者制度の見直しを行う。	
	30502010		46,881,058	産業振興部 商工観光課					
			4,215,040	河邊 俊和					
	観光情報サービスセンター運営事業		38,843,734	極めて高い					
			33,716,447	高い					
		5,127,287	高い			改善の効果	極めて高い		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価				
36	観光の振興	太平洋、三河湾が一望できる蔵王山展望台利用者の利便の向上を図るため、平成6年4月に建設した蔵王山展望台施設(鉄骨造4階建)、及び展望台周辺の園地等の適正な管理運営を実施する。	27,943,916	事務事業評価		・施設・周辺環境の修繕・更新等を行い、田原市観光の導入部としての魅力の向上を図る必要がある。	・給水加压装置取替え、転落防止柵設置等を行い、展望台の維持管理向上を図った。 ・リニューアル後の映像機器等の保守点検等により適正な管理運営を実施した。	・引き続き、施設・園地の適正な管理運営を行うとともに、施設リニューアル後に継続的な集客が続くよう、観光メニューの開発に取り組む。
	30502020		23,937,105	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	蔵王山展望台運営事業		4,006,811	極めて高い	高い			
			20,914,311	高い	普通			
			2,870,484	普通	普通			
37	観光の振興	環境対策のシンボルとして、平成13年に蔵王山展望台に整備した風力発電施設(定格出力300KW、想定発電量65万KWh)が正常に稼働するよう適正な維持管理を実施する。	17,111,280	事務事業評価		・老朽化による機器の計画的な保守・更新を行い、風力発電施設の適正な管理運営を図る。 ・平成30年に施設の耐用年数を迎えることから、施設の廃止も含め今後のあり方について方向性を定める必要がある。	・機械部品・電気部品等の点検・更新を実施し、年間稼働日数の拡大に努めた。	・発電施設の稼働年数の延伸を図るため、計画的な機器の更新に努める。 ・地元業者に保守業務を委託することで、管理費用の縮減を図る。 ・耐用年数経過後の施設の方向性について方針を決定する
	30502030		15,372,408	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	蔵王山展望台風力発電運営事業		1,738,872	普通	低い			
			13,440,796	低い	低い			
			1,930,153	低い	低い			
38	観光の振興	城下町文化の粹である山車・けんか風を展示紹介する田原まつり会館を適正に管理運営することで、田原の伝統文化である田原祭り、田原風のPRを図り、観光客の増加と地域の活性化につなげる。	13,463,901	事務事業評価		・山車収蔵庫の大扉の建てつけの悪化や空調機器の老朽化など、施設の経年劣化に伴う計画的な改修が必要となっている。 ・施設の効果的PRを実施し、利用客の増加を図る必要がある。	・平成27年度に引き続きLED照明への取替え工事を実施し、電気料の削減を図った。 ・床材取替え、職取付用ステンレス金具修繕等を行い適正管理を図った。	・大扉や空調機器等について計画的な修繕を行う。 ・中心市街地活性化事業と連動し、観光コースを駅前PRするなどまちなか観光の拡充を図る。
	30502040		8,540,635	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	田原まつり会館運営事業		4,923,266	高い	普通			
			9,101,527	高い	普通			
			3,938,234	普通	普通			
39	観光の振興	サーファー、観光客等、太平洋ロングビーチ観光便益施設(管理棟、多目的トイレ1基、男子更衣室:トイレ5基(小3基・大2基)、温水シャワー3基、女子更衣室:トイレ4基、温水シャワー3基)利用者の利便を図るために適正な維持管理を実施する。	7,296,712	事務事業評価		・指定管理により施設の適正な維持管理を図っている。	・指定管理者を変更したことにより、利用者目線にたった管理運営がなされた。 ・施設の定期点検、清掃管理など適正な管理運営を行った。 ・給水管等の修繕を行い、施設の適正な維持管理を行った。	・施設の老朽化に伴う修繕に対応し、適正な管理運営に努める。
	30502050		4,792,331	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	ロングビーチ管理棟管理事業		2,504,381	高い	普通			
			7,490,916	高い	普通			
			4,719,415	普通	普通			
40	観光の振興	観光地の公衆便所、駐車場、園地等を適正に維持管理することで、観光客等の利便を図る。	23,280,056	事務事業評価		・本市の観光イメージの向上のため、観光地の清掃や便益施設等の適正な管理を行う必要がある。 ・観光トイレは施設ごとの利用率に大きな差があるため、施設の集約化を図るとともに、利用率の高いトイレのグレードアップにより、観光客の快適性の向上と施設管理の効率性の向上が必要となっている。	・観光トイレ、駐車場、園地等の清掃、草刈、剪定等を行い、観光客の利便性と快適性の向上に努めた。 ・県補助事業により、海水浴場への海岸漂着物の回収処理を行った。	・観光トイレの修繕に随時対応すると共に、利用率の高い観光トイレに関しては洋式化やグレードアップを図る。 ・園地等は植栽木の定期的な剪定等により快適な環境の維持に努める。
	30502060		20,430,942	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	観光地維持管理事業		2,849,114	高い	普通			
			25,913,888	高い	普通			
			21,048,913	普通	普通			
41	観光の振興	田原市の観光魅力度の向上を図るため観光施設の整備拡充、修繕等を実施することにより、観光誘客及び観光客の利便を図る。	32,262,793	事務事業評価		・本市を訪れた観光客の立ち寄り場所の拡大や滞留時間の延伸を図るため、観光施設の計画的な改修や整備を行い、本市観光の魅力を高める必要がある。	・道の駅伊良湖クリスタルパルトイレの改修や無線LANアクセスポイント設置を行い、観光地魅力度の向上を図った。 ・観光客の利便性の向上のため、観光案内サインガイドラインを策定した。	・観光客の利便性の向上のため、観光案内サインガイドラインを元に計画的な整備を行う。 ・観光地の魅力向上のため、引き続き、観光地の施設の計画的な更新を図る。 ・観光基本計画を基に、地域資源の活用など新たな観光資源の造成について検討する。
	30502070		27,710,640	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	観光施設整備事業		4,552,153	高い	普通			
			35,971,133	高い	普通			
			33,595,560	普通	普通			
42	観光の振興	魅力ある観光まちづくりを推進するために渥美半島観光ビューローの支援を行い、官民協働による観光及びレクリエーションの活動の振興を図る。	54,267,631	事務事業評価		・本市の観光振興を図るとともに観光ビューローの自律性・継続性を高めるため、組織や事業の方向性を定めていく必要がある。	・プロパーの事務局長を採用したことで、組織や業務内容の自律的な見直しが行われるようになった。 ・地域の事業者と連携したツアー造成を行い大都市圏のエージェントに催行を働きかけるなど、経済効果を意識した実践的な取り組みがなされている。	・観光ビューローの自主財源の確保、事業の見直し、法人化、事務局職員の採用など、組織強化に向けた取り組みを支援する。
	30503010		53,000,000	産業振興部 商工観光課	河邊 俊和			
	観光団体活動支援事業		1,267,631	極めて高い	高い			
			57,395,847	極めて高い	高い			
			56,620,000	高い	普通			
	775,847	普通	普通					

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名					
	事務事業名		H28決算額(円)						
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価					
43	観光の振興 30503020	市民まつりを開催する田原市民まつり推進協議会の活動を支援することで、市民相互の融和と市民意識の高揚を図る。	20,772,186	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 運営方法を見直したことで、参加者の負担軽減につながっている。 企画提案型は、締め切りまでどんな企画が出てくるか不明であり、集客力が未知数である。 運営方法を見直したが、運営体制の検討が道半ばである。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議数の見直しをしたことにより、参加者の負担を軽減することができた。 委託内容を見直し、経費を削減することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民まつり開始時から組織している推進協議会と、企画提案型に変更してからの運営体制にギャップが生じており、あり方の検討・研究を年度内に実施する。 	
			8,500,000	産業振興部 商工観光課					
			12,272,186	河邊 俊和					
			11,442,334	高い					
			8,300,000	普通					
		3,142,334	普通			改善の効果	普通		
44	労働環境・消費生活の充実 30604010	市内に在住する勤労者への資金の融資を円滑にし、生活及び福祉の向上を図るため、東海労働金庫豊橋支店に資金を預託するほか、勤労者の団体が実施する福祉事業への助成を行い、勤労者の健康の増進と福祉の向上を図る。	21,997,187	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 補助制度等は他市との均衡を図りながら実施している。 融資制度に関しては市場金利の低下もあり利用が伸びていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、支援制度等の適正な運用に努めた。 利用が少ない勤労者融資に係る預託金について、東海労働金庫と調整し、平成29年度から10%縮減を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体とも調整を図りながら、補助制度の運用方法の見直し等に努める。 預託金については当面の動向を注視し、必要に応じ見直しを行う。 	
			20,600,000	産業振興部 商工観光課					
			1,397,187	河邊 俊和					
			21,254,220	高い					
			20,570,000	普通					
		684,220	普通			改善の効果	普通		
45	労働環境・消費生活の充実 30605010	田原市地域職業相談室において、求職者への求人情報の提供を行うほか、求人企業の求人申込の受付を行うことにより、求人求職業務窓口の充実を図る。	2,778,141	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 当地域は全国水準と比べ、比較的高い求人倍率で推移しており、一時期と比べると雇用環境は安定しつつある。 今後は、高齢者や女性など新たな働き手の開拓が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 田原市地域職業安定所の運営を支援した。 地域資源を活かした新たな産業・雇用の創出を図るため、国の制度活用に向けた検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 当地域の主力産業である農水産業分野と観光分野の連携による雇用創出を図り、高齢者や女性、さらにはUターンなどにも対応できる働く場の拡大に努める。 	
			392,897	産業振興部 商工観光課					
			2,385,244	河邊 俊和					
			2,979,848	極めて高い					
			425,693	高い					
		2,554,155	普通			改善の効果	普通		
46	労働環境・消費生活の充実 30606010	地域住民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識を高め、消費者トラブルの防止を図る。また、金融広報活動及び消費者教育活動の促進を図る。	6,762,609	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 消費者相談業務は、広域連合への移行されているが、東三河地域内に専門的な知識を有する相談員が少ないため、相談体制の構築が課題となっている。 プライバシーなど相談者に配慮した消費生活センターのあり方を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 広域連合により専門員を配置した消費生活田原センターの設置が行われた。 相談員をサポートし、相談員が働きやすい環境づくりに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 東三河地域全体に相談員が不足しているため、東三河広域連合において相談員の確保・育成を行っている。 消費生活田原センターの設置場所等の見直しについて検討し、相談しやすい環境づくりに努める。 	
			624,838	産業振興部 商工観光課					
			6,137,771	河邊 俊和					
			6,633,962	極めて高い					
			2,154,410	極めて高い					
		4,479,552	高い			改善の効果	高い		